

内航船舶輸送統計速報 (令和 7 年 5 月分)

1. 概況

総輸送量は、22,140 千トン（前年同月比 9.3%減）、12,402 百万トンキロ（前年同月比 0.8%減）であり、大型鋼船は 14,582 千トン（前年同月比 9.1%減）、9,156 百万トンキロ（前年同月比 0.3%増）、小型鋼船は 6,505 千トン（前年同月比 9.4%減）、3,034 百万トンキロ（前年同月比 3.9%減）であった。

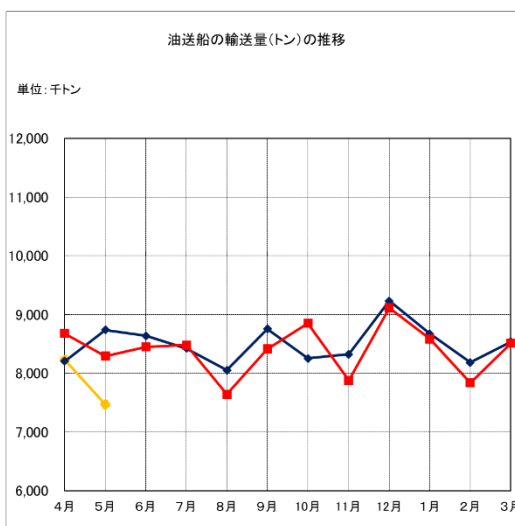
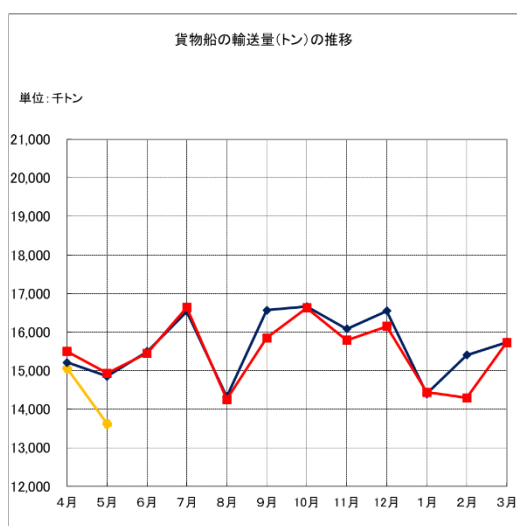
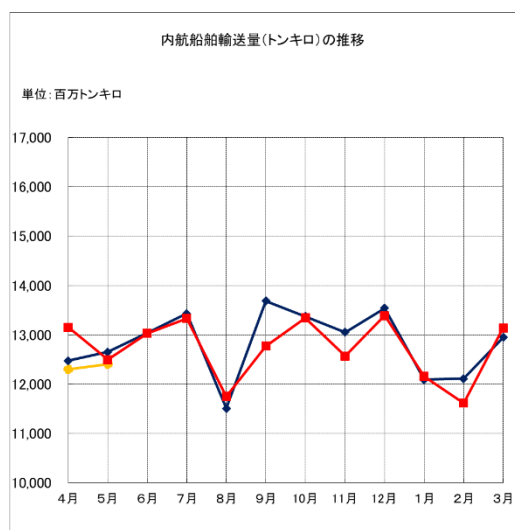
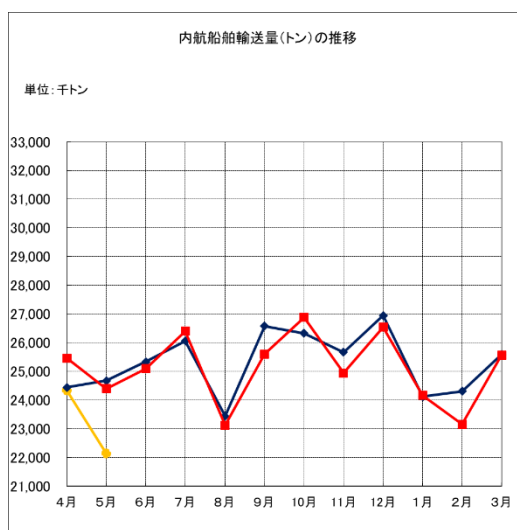
貨物船は 13,617 千トン（前年同月比 8.8%減）、7,962 百万トンキロ（前年同月比 0.1%減）であった。

油送船は 7,470 千トン（前年同月比 9.9%減）、4,228 百万トンキロ（前年同月比 2.0%減）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,053 千トン（前年同月比 9.9%減）、212 百万トンキロ（前年同月比 1.1%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	22,140	90.7	12,401,982	99.2
大型鋼船	14,582	90.9	9,155,994	100.3
小型鋼船	6,505	90.6	3,033,715	96.1
プッシャーバージ・台船	1,053	90.1	212,272	98.9
貨 物 船	13,617	91.2	7,961,530	99.9
油 送 船	7,470	90.1	4,228,179	98.0
プッシャーバージ・台船	1,053	90.1	212,272	98.9



凡例：◆ 令和5年度（2023年度） ■ 令和6年度（2024年度） ● 令和7年度（2025年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：松浦、木綿